

【様式1-1】

京丹後市橋りょう長寿命化修繕計画

令和2年2月

京丹後市 建設部 土木課

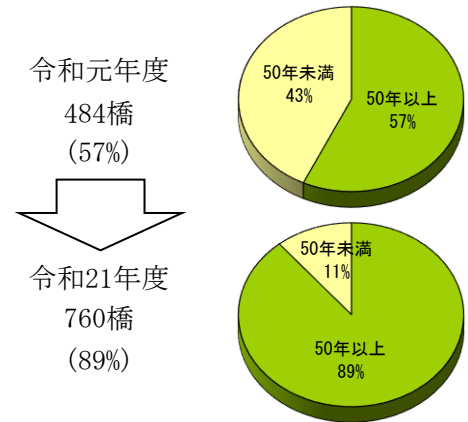
1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

本市が管理する橋梁は，令和元年度現在で855橋架設されている。

このうち，建設後50年を経過する橋梁は，全体の57%を占めており，20年後の令和21年度には，89%程度に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して，従来の対症療法型の維持管理を続けた場合，橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念される。



2) 目的

このような背景から，より計画的な橋梁の維持管理を行い，限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト削減のためには，従来の“損傷が大きく，使用上の問題が生じた段階で対策を行う”対症療法型から，“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り，橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで本市では，将来的な財政負担の低減および道路交通安全性の確保を図るために，橋梁長寿命化修繕計画を策定する。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一般国道	主要地方道	市道	合計
全管理橋梁数	0	0	855	855
うち計画の対象橋梁数	0	0	855	855
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	416	416
うち令和元年度計画策定橋梁数	0	0	439	439
長寿命化修繕計画の対象：				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 橋長が2m以上の橋梁 ・ 外寸2m以上かつ土被り1m未満の溝橋(カルバート) 				

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

定期点検（概略点検）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

日常パトロール等により、走行路面の状態について点検を行う。

4. 個別施設の状況等

定期点検法制化後の平成26年度から平成30年度までに管理橋梁854橋の定期点検を実施し、判定区分Ⅰ（健全）：276橋（32%）、Ⅱ（予防保全段階）：510橋（60%）、Ⅲ（早期措置段階）：63橋（7%）、Ⅳ（緊急措置段階）：5橋（1%）であり、判定区分Ⅳの5橋の修繕については実施済みとなっている。

5. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

本市が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は全体の約89%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想される。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減する。

6. 長寿命化修繕計画の優先順位

長寿命化修繕計画の優先順位は、以下の重要性を考慮して決定する。

- ・定期点検の健全性の診断に基づき、健全性の低い(劣化している)橋梁を優先
- ・第三者被害防止の観点より、跨道橋、跨線橋を優先
- ・避難路等の重要路線に架かる橋梁を優先
- ・修繕の困難性を考慮し、橋長が長いものを優先

7. 計画期間

5年に1回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかとなるよう計画期間は10年とする。
なお、点検結果を踏まえ、毎年、計画を更新する。

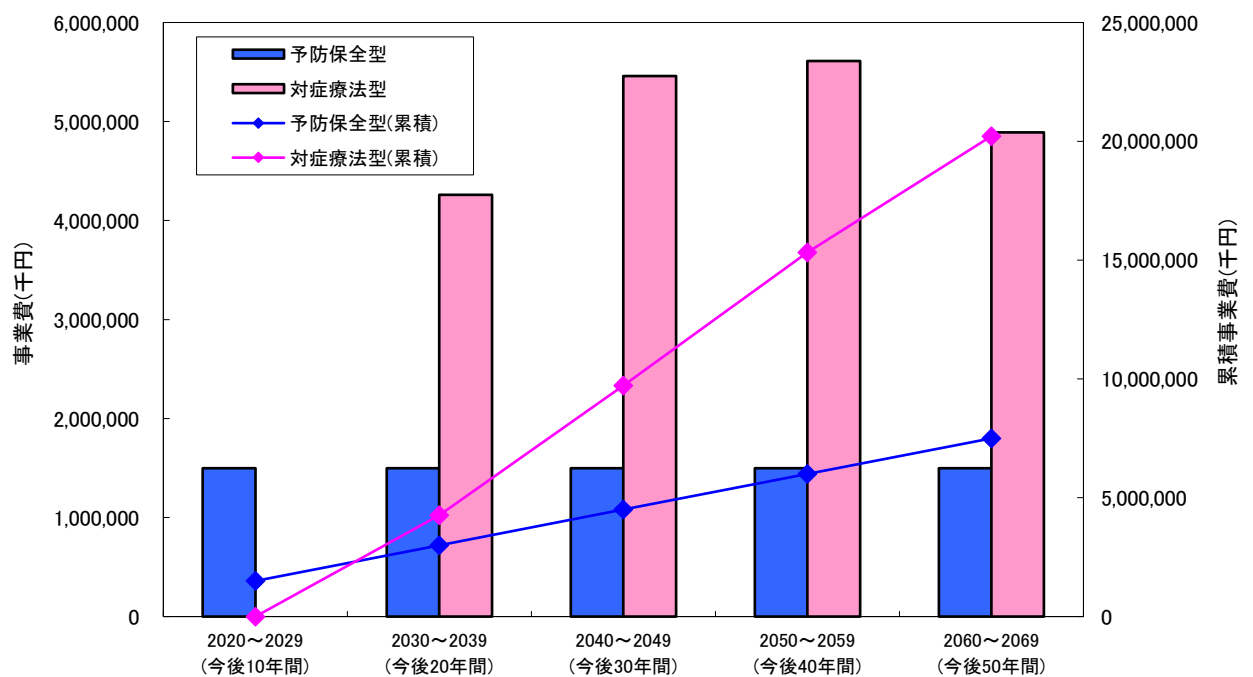
8. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

様式1-2による

9. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する855橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が202億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が75億円となり、コスト削減効果は127億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



※事業費・累積事業費は見込み額

10. 新技術等の活用

管理する855橋の修繕や点検の実施に当たっては新技術等の活用の検討を行い、費用の縮減や事業の効率化等を目指します。

11. 集約化・撤去

河川改修事業に伴う2橋の集約化・撤去、迂回路整備に伴う2橋の撤去及び施設の利用状況の変化に伴う1橋の撤去を検討します。

12. 費用縮減

管理する855橋のうち、橋長が短く1巡目点検において判定区分Ⅰ（健全）と判定された橋梁の一部において、年10橋程度を目標に直営点検を実施する。また、新技術等を活用した修繕や点検を実施することで費用の縮減を目指します。

【費用縮減効果：令和4年度～令和8年度までに約1,000万円】

また、河川改修事業に伴う2橋の集約化・撤去、迂回路整備に伴う2橋の撤去及び施設の利用状況の変化に伴う1橋の撤去を実施することで費用の縮減を目指します。

【費用縮減効果：令和4年度～令和8年度までに約2,000万円】